

前回の意見結果について（普段疑問に思っていることなど、自由意見）

平成24年度第2回自治推進委員会
平成24年10月16日【資料5】

ご意見	担当課からの回答
<p>まちづくりについては、私自身ボランティア協議会で商店街の活性化のために、通町秋寅の館でミニ・デイサービスをさせていただいているのですが、昔を知っている世代としてはとても寂しい気がします。人通りもまばらです。どうにかして、商店街に皆さんが足を運んでいただける様、皆さんが足を運んでいただける様、みんなで知恵を出し合い、考えていくべきではないかと思っています。※例えば商店街の空き店舗を利用して、宇多津のようにひな飾りを飾って人を呼ぶというのはどうでしょうか。</p>	<p>空き店舗対策としては、企業支援を兼ねたパイオニアマート事業として、出店者に一定期間無償で店舗を構えてもらい、終了後も引き続き商売をしていただきました。この他、街なかの歴史的建造物を活用したまちの駅秋寅の館やスペース114を運営したり、アニメイベントキャラフェスやみたから市などを定期的に開催し、商店街における市民参加や賑わいを創出しています。</p>
<p>丸亀市内、市外を問わず、どこの地域も住民の高齢化が進んでいます。有能な人材（仕事を退職した人）が積極的に社会に関わっていないのが現状です。特に団地に住む人は、居住年数が増えても地元意識が希薄に思います。地元には様々な役に立つボランティアなどがたくさんあるのに残念です。子ども見守り隊や交通安全指導・男性の料理教室など、情報をどんどん発信して欲しいです。</p>	<p>情報については、広報や市のホームページが主な発信源となっています。また、各地区のコミュニティ誌にも身近な情報が満載されています。仕事を退職された方など、長年にわたり培ってきた知識や経験を地域づくりに生かすことは、大変重要であり、必要であると考えていることから、今後も、情報の収集・発信に努めていきますが、市民の方々からもどんどん情報をお寄せいただきたいと思います。</p>
<p>(1)「新しい公共」時代の住民自治組織のあり方の検討 ①第三セクターとしての住民自治組織と位置づける。 ②体質改善（男性、高齢者中心、世帯単位などの見直しなど） ③市役所との関係（対等化、動員の見直しなど）</p> <p>(2)「新しい公共」時代の住民参画のあり方の検討 ①住民の参画はどこまで、現実的に可能か、必要か ②参画のための各種負担の軽減（時間的など）</p> <p>(3)市民活動の中間支援機能の強化 ①NPO/NGOのみならず、住民自治組織も支援の対象とすること ②市民活動推進コーナーへの専門職コーディネーターの配置</p>	<p>(1) ①住民自治組織はあくまでも任意の団体ですので、現在のところ、第3セクターとの位置づけは考えておりません。 (1) ②活発な住民自治のためにも、男女を問わず、幅広い世代の参加が必要ですが、即効性のある解決策が見当たらないのが現状です。まずは、住民自治組織の必要性を地域住民に実感してもらう対策が必要だと考えています。また、女性に役員になっていただき積極的に意見を取り入れている団体や、定年後で時間が自由になる方を重点に参加勧誘している団体もあり、自治会の体質改善に取り組んでいます。 (1) ③市と自治組織は、お互いに対等な立場で、市政に主体的に関わることや協働のまちづくりを進めることとしています。また、動員要請については、十分に検討してから要請するように各課にお願いしています。</p> <p>(2) 住民参画のあり方については、第二次協働推進計画に向け、検討していきたいと考えています。</p> <p>(3) ①市では、協働の最大のパートナーをコミュニティと位置づけています。 (3) ②現在、相談がある場合は地域振興課担当職員で対応していますが、今後は配置等も含めてコーナー全体を検討することが必要だと考えています。</p>

ご意見	担当課からの回答
<p>①行政を企画する時、何でも審議会・協議会といった類の組織をつくり、その参加委員の意見で大多数の市民の意見が吸い上げられたかのように処理するのはいかがかという思いがある。良い場合とそうでない場合があると思うがどうでしょうか。</p> <p>②公募により、応募がなかった場合又は募集人員に応募者が満たなかった場合に、過去にコミュニティに推薦を委ねたことがありますか。私はコミュニティの立場から言えば、依頼された時には、十分推薦できると思います。</p>	<p>①審議会の中でもたくさんの意見をいただいておりますが、審議内容について広く意見を募集する場として、パブリックコメントを行っており、審議会委員でない一般の方にも広く意見をいただいております。</p> <p>②自治推進委員については、これまで公募により募集人員に達しなかったことはありませんでしたので、コミュニティに推薦を委ねたことはありません。今後、そういう状況になりました時は、市民の側からの委員を選任するという事で、コミュニティに推薦をお願いすることがあるかもしれませんので、よろしくお願ひします。</p>
<p>ボランティアの奉仕団体（ライオンズクラブ2団体、ロータリークラブ2団体）があり、その方から人材を求めることはいかがですか？</p>	<p>会によっては、関係団体の代表者や民間団体等の構成員が委員になっておりますので、ライオンズクラブやロータリークラブの会員の方も含まれています。</p>
<p>駅周辺の街の活性化の妙案がないものですか。寂れゆく商店街、年ばかりを取るお年寄りと躍動感にあふれる若者はどこへと訴えたくなる。国道11号線を境に人口分布が大きく変わりました。流通経路も国道を挟むように市街地へと伸びていきます。市全体の中核都市のあり方を今一度、青写真に示し、広く市民意見参加を募りたいものです。香川において西讃の中核を担う都市計画を考えてもらいたいものです。与えられた自然の恵みを十分に生かし、お城を中心とする都市のあり方がないものですか。新たなうちわミュージアムの建設、場内グラウンドの見つめ方、広報を通して市の政策が少し見えてきます。10代後半から40代までの幅広い人たちの意見を求めたいものです。未来ある青年の熱き魂に中核都市に対する意識が広く伝われば、希望の見える未来を築き上げられるでしょう。</p>	<p>駅周辺の街の活性化については、中央商店街振興組合連合会や関係機関と連携をとりながら、魅力ある商店街づくりに努めていきます。また、公共交通機関、公共施設を始め、生活に必要な諸機能が近接して極めて利便性が高い地域であるという利点を生かして、定住人口の増加を図り、地域に密着した商店街を目指し、活性化を図っていきたくと考えています。</p>
<p>先日は、何十年ぶりに婦人会の会議に参加させていただきました。時代の流れでしょうか。年齢の方も昔より高くなっているように思われました。（若い女性の方が仕事につかれたのが現状でしょうか。）多少緊張感にも欠ける思いが致しました。中に後任の方がいないのか、誰かが意見を述べるとそれについての意見は出されるが、どの会も新規の委員さんの入れ替えが難しいのでしょうか。年度の会計報告にミスがあっても、その場で答えられない場面もあり、会のあり方を見直す必要もあるのではないかと疑問を感じました。</p>	<p>新しい役員の入れ替えについては、どこの組織においても課題であるようです。例えば、仕事を持った若い人も参加できるよう、会議の開催時間の見直しや会議のあり方などについて、ぜひ、新しい視点でご検討いただき、婦人会の団体としての活動はもとより、地域のために前向きに生かしていただければと考えます。</p>

ご意見	担当課からの回答
<p>(1) NPOとの協働と絡んで、企業との三社との協働はあるのでしょうか。</p> <p>(2) 商店街の活性化の現状は？</p> <ul style="list-style-type: none"> －空き店舗の活用 －若い人（学生）との協働※坂出商店街では、商店街全てを使って、小学校、坂出商業、香川大学が定期的に出店している。 	<p>(1) コープかがわによる「市民ひろば花壇植栽協働事業」、アサヒビールによる「郡家小学校芝生化」などが挙げられます。</p> <p>(2) 産学官の連携事業として、「ダンボールアート遊園地in中央商店街」と題したダンボール製の丸亀城天守を作るワークショップや学生がデザインした「ダンボール製こんぴら街道の丁石」の展示を計画しています。</p>
<p>若者の意見として書かせて頂きます。やはり、若い人が意見を発言するツールとして、PCやスマホ・携帯電話の利用が多いと感じます。その中でもブログやツイッターを利用した発言の場合、気軽さや同世代の人にも見てもらうことが出来ます。更に検索エンジンで検索した際も表示されるので、地域だけではなく、まちづくりに参加したいと考えている他の地域の若者にも見てもらえるなど多くのメリットがあると思います。また、現在、自治推進委員会に参加する学生委員は、学校で一人ですが、男女一人ずつ参加させるなど、二人参加してもらうのがよいと思います。一人が欠席をすることになっても、もう一人出席できることや意見の広がりが望めると予想されるからです。</p>	<p>今後のまちづくりにおいて、これからの担う若者の意見は、大変重要なものであり、市にとっても若者のご意見をいただけることは嬉しいことであると考えています。自治推進委員は現在15名ですので、学生2名は適当な人数と考えますが、他の審議会においても、学生の参加について検討していきたいと思っております。</p>
<p>(1) 施設や建物が建つ時、その決定までの経緯がどのようになっているのか。</p> <p>(2) 協働について市の方向性は？現在の市の体制等は？</p>	<p>(1) 所管部署において十分な協議をしたうえで、市政全般にわたる重要事項の基本的な方針を決定する「経営会議」や市政運営の最高方針や重要施策を審議する「庁議」に諮り、市として意思決定した後、議会に提案し、議決を経て決定されます。</p> <p>(2) 現在、第2次協働推進計画策定に向け、市民アンケートを準備中です。そのアンケート結果を踏まえて、今後の方向性を考えていきます。また、市の体制としては、各課に協働推進委員を配置しており、市民活動団体と行政の仲介及びアドバイザーの業務として地域振興課があります。</p>
<p>丸亀城に行くとき、どこに車を駐車すればよいか分からない。わからないから「行きづらい」という感じになってしまう。</p>	<p>城内にある資料館には、50台の駐車場があります。また、丸亀城の近くには、市民ひろば20台をはじめ、市営駐車場には、大手町西駐車場137台、大手町第二駐車場101台の駐車が可能です。市のホームページにも市営駐車場利用案内、市営駐車場へのアクセスなどを掲載していますので、ご活用ください。</p>